

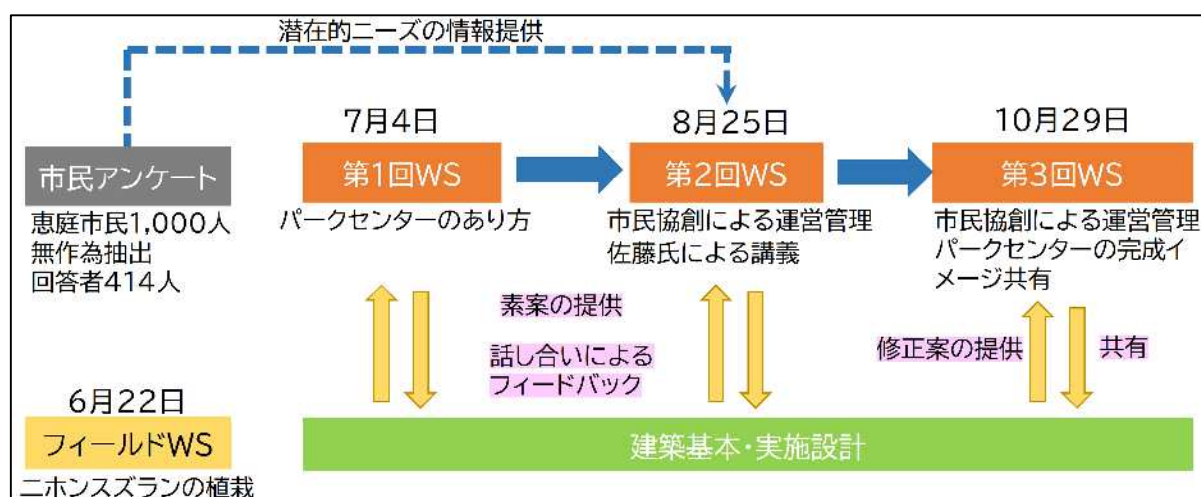
恵み野中央公園改修について

1. 恵み野中央公園を育む会（ワークショップ）について

恵み野中央公園は開設から約40年が経過し、施設の老朽化や公園機能と利用者ニーズの不整合が課題となっていることから、令和5年度より地域の多様な主体が参加する会議（恵み野中央公園を考える会・ワークショップ）を開催し、令和7年2月に恵み野中央公園の一部改修を目指した改修基本計画を策定いたしました。

令和7年度は、公園改修後の市民との協創による管理運営を見据え、名称を『恵み野中央公園を育む会』と改め、計3回のワークショップを行いました。

ワークショップは昨年度のメンバーに加え、新たに地域活動に熱心な数名を迎え、パークセンターのあり方、パークセンターを核とした市民参加型の運営管理、中間支援体制のあり方、パークセンターの計画内容、実施設計の内容について議論いたしました。



図ー1 令和7年度の取り組み（フロー）



ワークショップの様子



NPO法人 birth 佐藤留美事務局長



ニホンスズランの移植作業

2. 恵み野中央公園改修実施設計について

実施設計を進める上で、令和6年度末に策定した改修基本計画の計画図をベースに、市内環境保護団体の意見を一部取り入れ、池周辺の生体に与える影響を考慮して工作物の形状を見直したことや、インクルーシブ遊具の選定にあたっては、肢体、視覚、精神等の障がい者支援団体へのヒアリングを行うとともに、周辺小学校の全生徒にアンケートを行って遊具を選定いたしました。実施設計は来年1月頃まで引き続き検討を進めてまいります。

(別紙「資料1」参照)

3. 今後のスケジュール（予定）について

令和8年度に改修工事に着手し、改修工事が完了した場所から順次供用を開始する予定です。また並行して「(仮称) 恵み野中央公園パークセンター」を核とした中間支援組織による運営管理を目的として、令和8年度に中間支援組織設立準備会を設置し、中間支援組織による管理運営を目指した議論を行います。

